

日本規格協会 主催

主婦連合会 協力

12月2日(金) 13時30分～

# パネルディスカッション

## ～単位価格表示 (ユニットプライス) をいま、再び～

単位価格表示って…?



単位価格表示とは、一定の単位当たりの販売価格(例:100gあたり〇〇円)を表示することです。単位価格を利用すれば、年間、8万円～14万円程度の節約が出来るという試算もあります<sup>(\*)</sup>。また、値段は以前のままだも、実は内容量だけ減少していたり、包装・容器代が大きく加算されていることに、だまされないようにもなります。ただそのためには、消費者側が単位価格表示への正しい認識を持つこと、事業者によって単位価格が適切に表示されることが必要です。

日々のお買い物におけるちょっとした注意で年間約 **14万円**節約できるとしたら…。  
それは、あなたにとって微々たるお金ですか？



日本では、1970年代後半、消費者団体の積極的な働きかけもあり、「単位価格表示」に関する条例を制定するまでに漕ぎ着けたものの、今日では、消費者、行政、事業者も、「単位価格表示は、果して本当に必要とされているのかしら？」というような感覚が、それぞれの意識の中を漂っているようにも見受けられます。しかし一方で国際的には、「単位価格表示」の国際的なルール作り(国際標準化)が、ISO(国際標準化機構)で始められており、また、CI(コンシューマーズ・インターナショナル)も、消費者を守る重要テーマの一つとして、各国消費者団体と連携し、適切な単位表示価格の普及啓発に乗り出しています。

このパネルディスカッションでは、「消費者の権利」、「消費者にとってのメリット」さらには、「私たちを取り巻く生活環境」という観点から、改めて「単位価格表示」の必要性を検討し、さらには、消費者、行政がそれぞれの立場で何をしていくべきなのかについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思っております。

こうした機会を経てみなさんの心に残ったことが起点となり、日本における「単位価格表示」のあり方がさらに議論されることとなることを、願っております。

(\*) Queensland University of Technology (QUT) Business School (オーストラリア)による調査結果に基づく。オーストラリアの4人家族を対象に、Unit Pricingを(食料品店)利用した場合、どの程度の節約ができるかを調査したもので、「QUT News」として関連記事がリリースされた(2016年6月27日)。



# プログラム

(※プログラムは予定であり、予告なしに変更する場合がございます) :



13:30~17:00 :

## <パネルディスカッション> (日本語⇄英語の逐次通訳)

パネリストの方々を中心に、「単位価格表示」の必要性、さらには何をしていくべきなのかについて、みなさんと一緒に考えます。

### <パネリスト (予定) >

松本 恒雄 (国民生活センター理事長)

及川 昭伍 (元経済企画庁 国民生活課長/元国民生活センター 理事長)

加藤 絵美 (特定非営利活動法人親子消費者教育サポートセンター代表/  
日本女子大学 非常勤講師)

Mr. John Furbank (オーストラリア規格協会/ISO/PC 294 議長<sup>(\*)</sup>)

Mr. Ian Jarratt (コンシューマーズ・インターナショナル/ISO/PC 294 メンバー) 他

### <ファシリテーター>

中久木 隆治 (一般財団法人 日本規格協会 国際標準化ユニット

国際支援グループ 国際支援部長/消費者関連推進室長)



日時 : 2016年12月2日(金) 13:30~17:00 (開場 13:00~)

場所 : 主婦会館プラザエフ 3F 主婦連合会会議室

(東京都千代田区六番町 15 番地。JR 四ツ谷駅、地下鉄四ツ谷駅より徒歩 2 分)

参加費 : 無料

申込方法 : 下記事務局まで【お名前・ご所属】をお知らせください (メール/FAX)

**※締切 : 2016年11月28日(月) ※先着30名 (定員に達し次第締め切り)**

事務局 : (一財) 日本規格協会 国際標準化ユニット

東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 10F

TEL : 03-4231-8520/ FAX : 03-4231-8655

担当者 石川茉莉耶 ([m\\_ishikawa@jsa.or.jp](mailto:m_ishikawa@jsa.or.jp))



URL : <http://plaza-f.or.jp/index2/access/>



主婦連合会

(\*) ISO (国際標準化機構) での本テーマの国際的なルール作りは、ISO/PC 294「単位当たり価格のガイダンス」という専門技術委員会で、審議されています。